

令和4年度「地域活動きずな研修」 研修内容及び研修受講者評価一覧

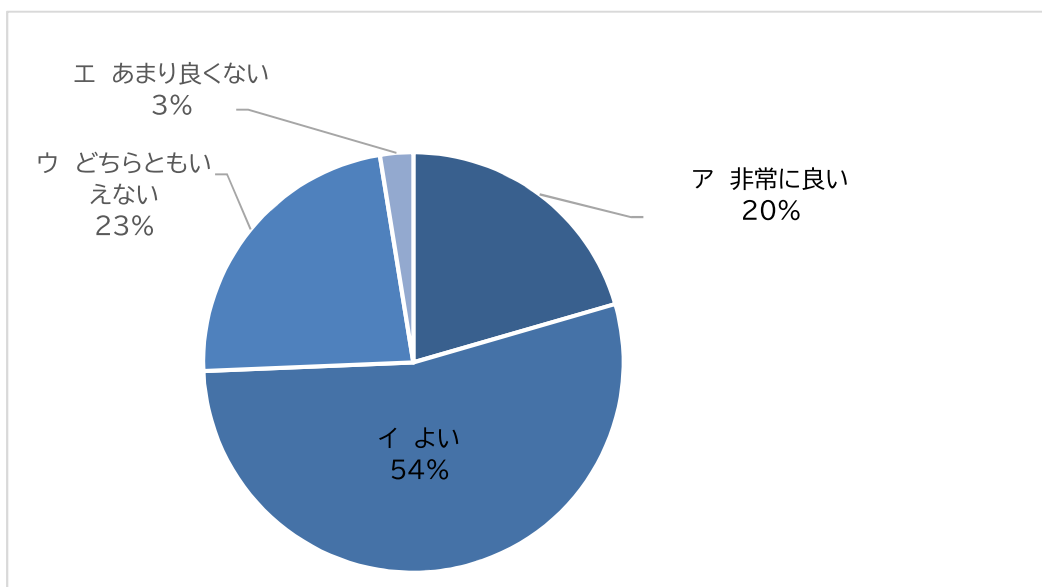
1 研修内容の比較

	令和4年度	令和元年度	平成30年度
まち協の会議・ 行事の参加回数	定例会(初回顔合わせ)1回 会議・行事年4回	定例会年3日	定例会年3日
		行事年2回	行事年2回
参加時間数	最大17時間程度 (初回顔合わせ除く)	行事1回あたり 最大6時間程度	行事1回あたり 最大6時間程度

2 研修受講者の研修の総合的評価一覧

この研修の総合的評価	令和4年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ア. 非常に良い	8人	20.0%	8人	20.0%	5人	13.2%
イ. 良い	21人	54.0%	22人	55.0%	21人	55.3%
ウ. どちらともいえない	9人	23.0%	7人	17.5%	7人	18.4%
エ. あまり良くない	1人	3.0%	2人	5.0%	3人	7.9%
オ. 良くない	0人	0%	1人	2.5%	2人	5.3%
合計	39人	100.0%	40人	100%	38人	100%

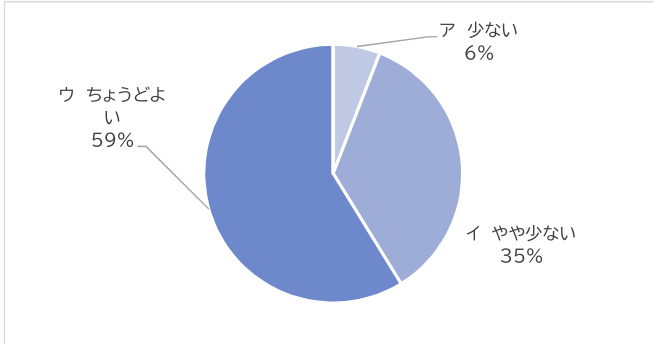
【令和4年度 総合的評価 割合】



令和4年度「地域活動きずな研修」まちづくり協議会へのアンケート集計結果一覧

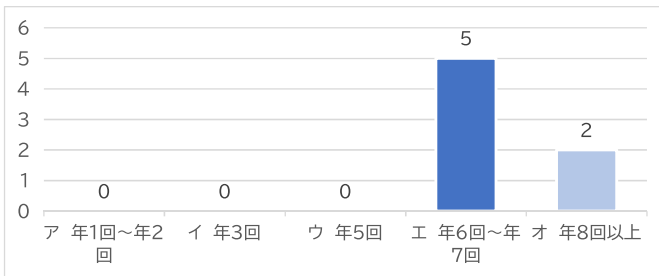
対象団体数:20団体/回答団体数:17団体(回答率:85%)

(1)若手職員が地域活動(会議、行事)に参加する頻度、時間はいかがでしたか。  
(現在、1人あたり年間最大4回、最大17時間程度)



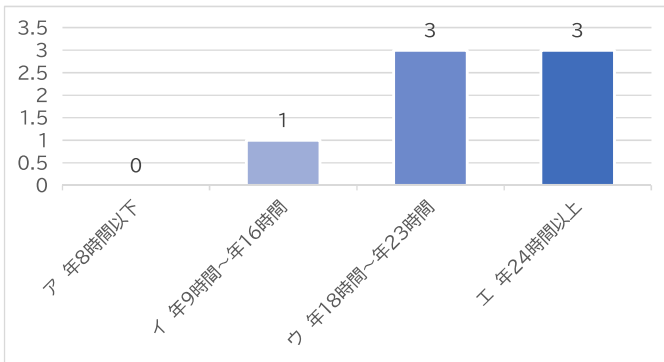
項目	回答数
ア 少ない	1
イ やや少ない	6
ウ ちょうどよい	10
エ やや多い	0
オ 多い	0
カ 必要なし	0
合計	17

(2)1で「ちょうどよい」以外に回答された方にお尋ねします。頻度、時間はどれほどがよいと思われますか。  
【回数】



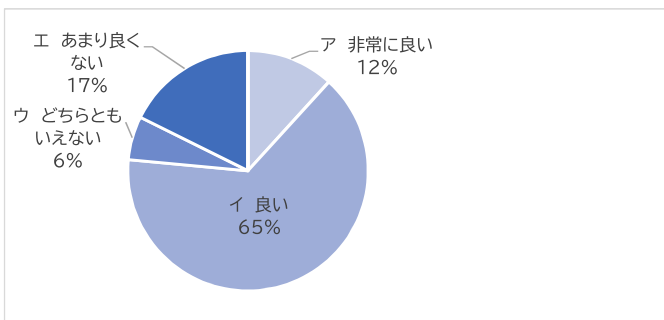
項目	回答数
ア 年1回~年2回	0
イ 年3回	0
ウ 年5回	0
エ 年6回~年7回	5
オ 年8回以上	2
合計	7

(2)1で「ちょうどよい」以外に回答された方にお尋ねします。頻度、時間はどれほどがよいと思われますか。  
【時間】



項目	回答数
ア 年8時間以下	0
イ 年9時間~年16時間	1
ウ 年18時間~年23時間	3
エ 年24時間以上	3
合計	7

(3)「地域活動きずな研修」の総合的な評価はいかがでしたか。



項目	回答数
ア 非常に良い	2
イ 良い	11
ウ どちらともいえない	1
エ あまり良くない	3
オ 良くない	0
合計	17

(4)若手職員が定例会議や行事に参加していくうえで、「こうした方がよいのでは」といったことや気づかれたことなどがあればご記入ください(自由記載)。

No	意見
1	<p>・「こうした方がよいのでは」は特に有りません。以前は、確か「準備作業等は除く。」という条件が付いていました。今回はそれがなかったのが、大変良かったと思います。</p> <p>・月1回の活動委員会以外に部会に参加してもらいました。地域での会合を身近に体験していただきたくて、プログラムに入れました。</p> <p>・イベントに参加していただいた時に、明るくはつらつと活動していただいて、とても好感が持てました。また、手伝っていただいて助かりました。</p>
2	<p>定例会議の出席は地域の雰囲気を知ることには意義があると思うが、会議の内容に意見を求められるわけでもない状況なので、顔合わせ的な位置づけで十分かと思える。イベントのお手伝い参加をお願いしていたが、とても助かった。職員自身が参加の役割を理解して積極的な行動も見られて楽しく活動ができた。</p>
3	<p>若手職員が早い次期に各まち協の活動内容にふれることは非常に良いことである。そのためには年6回程度は必要。一緒に企画、一緒に参加といった回数増を望みたい。</p> <p>内容によっては、参加費が必要な活動もあります。地域住民は、皆払って参加しています。このような活動を体験していただくことは可能でしょうか。(例:寄せ植え講習会、料理教室など)地域活動は、すべてが無料参加できるわけではありません。</p> <p>地域活動きずな研修にご参加お疲れ様でした。</p> <p>とんどの竹取やコミュニティフェスティバルでの活動は大変助かりました。</p> <p>竹から枝を扱う作業では経験がないためか苦勞されていた。地域の人たちの方法を見ながら学ぶか、声をかけて教えてもらうかなどをしたら、地域の人との絆がより強くなると思いました。</p> <p>会議では傾聴に徹するのも良いですが、地域の人たちは協議内容について若い人の意見や考えを聞きたいと思っています。会議でのコミュニケーションがお互いの成長につながると思います。</p> <p>今回の経験をもとに、おふたりがより良い宝塚市づくりに貢献されることを願っています。</p>
5	<p>・まずは地域の活動を体験していただくことが大切だと思います。忙しい人もいると思いますので、現在のようスタイルでやむを得ないと考えています。</p> <p>しかし、しいて期待することを言えば、</p> <p>・イベントに参加するスタッフだとしてもお客さんになってしまいがちです。お互いに、日常的な情報共有の機会を意識して持つようにしていきたいです。</p> <p>・例えば自分の住んでいる地域の担当になっていただき、コミュニティの委員になっていただくことを期待しています。</p> <p>・参加された職員の方々の感想や意見、まち協に期待すること、自分がこれからできることなどをお寄せください。</p>
6	<p>4回17時間の内容は、2回会議、2回行事と仮定すると会議2時間×2回=4時間、行事2回×6.5時間=13時間となり、行事を準備と本番各6.5時間とれます。当コミュニティの場合、夏まつりを推薦していますので適切な研修になると考えています。研修に来られた方は皆さんまじめで、私たちもおおいに助かっています。特に若手が少ない現状で、力仕事を任せられるので喜んでます。</p>
7	<p>①若手職員のお二人には、主に行事(夏休み工作教室、地域ネットワーク会議、地区防災委員会、伊丹まち歩き、防災訓練)に参加して頂いた。時間に制約があり毎月一回開催の役員会に参加頂く機会が少なかったのは残念である。まち協活動が一番分かるのは役員会での論議である故。</p> <p>②今後若手職員の皆さんに求めたいのは「自ら考え行動する力」「地域課題への提案力」「市のビジョンと地域の整合性分析力」などのスキルである。地域は様々な特性と課題を抱えており、行政にはそれらをくみ取って課題解決の方策を地域とともに具体的に推進する若手を中心とした組織づくりの強化を目指して頂きたい。</p> <p>③まち協、自治会などの担い手が減少する要因としては、行政側の過度な地域への期待と多岐にわたる地域課題の多さに一因がある。ついては、若手職員がもっと積極的に市中に出て夫々の地域の現場、現実、現物を確りと頭に叩き込んで頂きたい。そんな行政風土が醸成されれば、無駄な議論や協議が減少する。結果として、効率的な市側とまち協との協働関係が名実ともに実現すると考える。</p>
8	<p>コロナ禍で、思うような恒例イベントが開催できず、若手職員の方に手伝って頂くことが難しかったのは仕方ないことではあるが、少々残念でした。しかし、ここぞという会議には、参加して頂いたのも、参考になったのではないかと、思います。</p>

9 イベントへの参加については、可能であれば計画段階からの参加が望ましいと考えます。

10 積極的な姿勢でとけこもうとして欲しい

きずな研修の意義は良いと思うが、実態としては効果は期待ほどではなかったと思う。

まち協と一体となつてと言う意味では、十分な時間がとれていない。

活動は企画と実践があると思うが、どうしてもやり易い(やってもらい易い)のは実践で、作業のお手伝いになってしまう。これでは若手の研修としてはもったいない。

11 これは受け手の我々が、受け入れるためのテーマ選定や準備が十分でないことと時間が短いため、少し会議に参加しても内容が分からないため意見も出づらいうらうし、その結果作業のお手伝いが中心になってしまう。

従ってこれからは、年初に研修を受け入れられるテーマを考え、どんな企画にどんな形で参加してもらうかを考える必要があると思う。

そのため市には研修期間と参加回数や時間を早くアナウンスしてもらうことが重要だと思います。

それによって職員さんに活躍してもらう活動を決め準備をして行けば、有効な研修になると思います。

12 地域のことを知ってもらうためには、若手職員が何を望んでいるかがわかりません。定例会議では、地域の課題や日頃の活動の報告をするため発言しにくかったことと思います。先日(2月11日)多世代交流会で、山崎市長に同行されていた若手職員と久しぶりにお会いしてなつかしく感じました。若手職員さんが地域に出向くことは、現場の状況がよく分かって良いことだと思うので継続して頂きたいです。

13 今回初めての代表でしたので、何かと思うとおりに行かず、きめ細かいところまで助言をいただき、大いに助かりました。本当にありがとうございました。

14 今年度、前年度はコロナの影響で例年の定例活動が少なくなり、参加していただく機会が少なく時間が有効に利用できなかったことは残念です。市役所職員として、市民目線で活動することや、机上では分からない感覚を経験できることは研修として意義はあると思います。様々な担当部署からの研修として、担当部署とまちづくり協議会や市民との関りをテーマにしたコーナーを設けて対話をする機会があれば、担当部署を改めて外部から見つめて改善できる機会が見いだせると考えます。自ら問題を見つけて改革と改善及び合理化に取り組むきっかけになる研修となることを期待します。